

本日は、敬老者の皆様にお祝いをさせていただく供養会といたしました。敬老者の皆様、本当におめでとうございます。

本日は妙智會の寿命増益についてお話しします。

妙智會の寿命増益とは、例えば、80歳まで生きられる人が、寿命増益により80歳以上生きられるということではありません。

人は生まれてくるときに、霊界から寿命は何歳といただいています。これを「天寿」といいます。これは神さま佛さまからいただいた寿命ですから、私どものような足りない人間たちが念願しても、それを伸ばすというおこがましいことはできないはずです。そして、1人1人いろいろな意味があってそれぞれの天寿をいただいている中で、私たちは好き勝手な人生を歩み、自分の行いや考え、生き方で、体や神経によくないことをして、せっかく神さま佛さまからいただいた天寿を縮めています。

「増益」という言葉から、増やす、と考えてしまいましたが、妙智會の寿命増益は、失った命を元に戻すことです。では、どのように寿命増益の念願をするかというと、妙智會の寿命増益で大切なことは、まず「懺悔」です。助けてくださいという前に、本当に勝手に申し訳なかったと、その一言でも申し上げてからお経をあげるのです。せっかく頂いた寿命を自分勝手に短くしたことを懺悔し、何とかお願いをしてみましょう。その懺悔を受けていただければ、妙智會の寿命増益は必ず頂けます。

懺悔の一番の修行はお導きです。会主さまがお導きをしなさいとおっしゃったのは、業障が取れるとともに、本当の意味の天寿が全うできるからです。

一方で、どんなに寿命増益をして、病気や怪我をしながら、寝たきりの状態で、天寿を全うすることもおかしいことでもあります。ご神佛は、天寿をくださったときに「全て健康、全て怪我なし、全て性格もよし。そういう中で天寿を全うできるんだよ」と言ってくださっています。

天寿の中で病気をする、怪我をするということはありませんと、霊界はおっしゃっています。私たちが病気や怪我をするのは、生まれてから今日まで、せっかくのおはからいに対して私たちが逆らった人生を送っているからなのです。ですから会主さまは「人生、全て懺悔なり」「死ぬまで懺悔なんだよ」とおっしゃったのです。

肉体的にも精神的にも「健やかに」生きていくことが天寿です。大きい病気をしない、大きな怪我をしない、大きな精神的不安がない、全くないとは言えなくても少なくて済むことが、妙智會の寿命を全うするということです。

私たちは、せっかく頂いた寿命を短くしています。私の知る限り、病気・怪我・精神的な部分で苦しんでらっしゃる信者さんが多いです。厳しい話になりますが、懺悔が足りていないからです。

私たちの寿命も、この体も、神経も、全て神さま佛さまからの借り物であります。全うしてそれをきちっと返すのが妙智會の生き方であります。そして、妙智會の天寿、寿命というのは、懺悔あってこそその寿命であり、天寿であるということを、もう一度しっかりと心に入れてください。

そして、まっとうな大往生の人生を送ってください。それが会主さま、大導師さまの望みであります。そのことを最後にもう一度強く、皆様をお願いをして、敬老者の皆様をお祝いする供養会の私の指導といたします。本日はおめでとうございました。